

平成 28 年度 第 1 回地域社会連携本部会議 議事要旨

1. 開催日時

平成 28 年 4 月 21 日（木）10：35～11：45

2. 開催場所

東京・世田谷キャンパス 教育研究棟 1 街区 2501 中会議室

3. 出席者（敬称略）

渡邊 謙吉（世田谷区スポーツ推進担当部スポーツ推進課長）
直井 ユカリ（横浜市市民局スポーツ振興部スポーツ振興課長）
泉 哲郎（公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団事務局次長）
今井 健雄（公益財団法人横浜市体育協会経営企画部長）
鈴木 康介（横浜市青葉区役所総務部区政推進課企画調整係長）
具志堅 幸司（社会貢献推進機構 連携推進担当、副学長）
白旗 和也（社会貢献推進機構 スポーツ・プロモーション・オフィス オフィスディレクター）

4. 欠席者（敬称略）

鈴木 一宏（社会貢献推進機構 教育開発担当、学生支援センター長）
中里 浩一（社会貢献推進機構 研究開発担当、総合スポーツ科学研究センター長）

5. 書記

増岡 啓彰（社会貢献推進機構 スポーツ・プロモーション・オフィス アシスタントオフィスディレクター）
塚田 直彦（社会貢献推進機構 スポーツ・プロモーション・オフィス 主任）
岡田 順治（社会貢献推進機構 スポーツ・プロモーション・オフィス オフィススタッフ）
大久保 瞳（社会貢献推進機構 スポーツ・プロモーション・オフィス オフィススタッフ）

6. 配布資料

資料 1-1 平成 27 年度日本体育大学社会貢献推進機構自己点検・評価報告書
資料 1-2 平成 27 年度日本体育大学社会貢献推進事業外部評価報告書
（社会貢献推進事業評価委員会）
資料 1-3 平成 27 年度日本体育大学社会貢献推進事業外部評価報告書
（教育活動評価委員会、研究活動評価委員会、社会貢献推進事業評価委員会）
資料 2 平成 28 年度事業方針・事業計画（案）
参考資料 1 協定書（写）
参考資料 2 地域社会連携本部規則
参考資料 3 地域社会本部構成員一覧
参考資料 4 スポーツ・プロモーション・オフィス構成メンバー

7. 議題

1) 報告事項

- ① 平成 27 年度日本体育大学社会貢献推進機構自己点検・評価報告書
- ② 平成 27 年度日本体育大学社会貢献推進事業外部評価報告書
（社会貢献推進事業評価委員会）
- ③ 平成 27 年度日本体育大学社会貢献推進事業外部評価報告書
（教育活動評価委員会、研究活動評価委員会、社会貢献推進事業評価委員会）

2) 審議事項

平成 28 年度事業方針・事業計画（案）について

8. 議 事

議事に先立ち、塚田主任より、当本部会議開催に関する謝意が述べられた後、人事異動による後任の方々の紹介がなされ、本日の会議資料の確認が行われた。

また、「地域社会連携本部規則第 4 条」に基づく互選による議長選出については、具志堅幸司教授（連携推進担当）が満場一致で選出された。

1) 事業報告

具志堅議長より、既に構成員には事前に「平成 27 年度日本体育大学社会貢献推進機構自己点検・評価報告書について」資料（1-1、1-2、1-3）として配布した報告がなされた。

① 平成 27 年度日本体育大学社会貢献推進機構自己点検・評価報告書について

具志堅議長の指示により、塚田主任から外部評価委員会の開催日程等の関係上、評価内容を平成 27 年 1 月～12 月ということを実施している旨説明がなされた後、配付資料（資料 1-1）に基づく報告があった。

② 平成 27 年度日本体育大学社会貢献推進事業外部評価報告書（資料 1-2）

（社会貢献推進事業評価委員会）について

具志堅議長の指示により、塚田主任より、こちらは外部評価委員会のうち、当機構の事業全体を評価する「社会貢献推進事業評価委員会」の評価報告書である旨、説明がなされた。添付資料として、同委員会が検討を行う際に資料として使用した「評価記入用紙」及び「評価統括表」を添付している旨補足説明がなされた後、配付資料（資料 1-2）に基づく報告があった。

③ 平成 27 年度日本体育大学社会貢献推進事業外部評価報告書（資料 1-3）

（教育活動評価委員会、研究活動評価委員会、社会貢献推進事業評価委員会）について

具志堅議長の指示により、塚田主任より、社会貢献推進事業評価委員会の開催に先立って開催された外部評価委員会の教育活動評価委員会、研究活動評価委員会、社会貢献活動評価委員会の各報告書である旨説明がなされた後、配付資料（資料 1-3）に基づく報告があった。

具志堅議長より、外部評価委員会の各委員会からご指摘のあった事項については、できる内容から順次対応することとしている旨説明がなされた。その後、審議題である「平成 28 年度の事業方針・事業計画（案）」についても、前年度の内容から大幅な見直しを行っている旨補足説明がなされた。

2) 審議事項

平成 28 年度事業方針・事業計画（案）について（資料 2）

具志堅議長より、審議事項は、1 件で「平成 28 年度事業方針及び事業計画」である旨説明があり、1 月に学内の運営戦略会議を開催して一旦は案を固めたが、その後、外部評価委員会において、内容が月次計画的なものであるため、見直す必要があるのではないかとの意見が出されたことを踏まえ、短期・中期計画と合せて、かなり踏み込んだ形の原案に修正したとの補足説明の後、配付資料（資料 2）のとおり提案がなされた。

なお、塚田主任より、平成 28 年度の公開講座・スポーツ教室等については、学内公募により決定した内容であり、本日配布した資料のとおりである。この他、資料に記載されていないが、例年どおり 11 月開催予定の日体フェスティバルに合せて実施する体力測定がある旨補足説明があった後、本件の審議に入った。

(泉) 今後ボランティアを授業の一環として取り入れていくという記載があるが、人材バンクについては、どう活用していくのか。

→ 人材バンクについては、一般ボランティアとして活かしていく。また、カリキュラムの見直しをはかり、ボランティアを授業の一環として取り組めるよう 3 学部共通の地域志向型科目を分野別委員会にて検討している。

(直井) どのような手続きでボランティアは派遣されるのか。

→ 目黒区自然宿泊体験教室を例に挙げると、派遣前に目黒区教育委員会による事前の説明会があり、その後学生は派遣先の選定、派遣先決定の後、派遣先の学校にて面接があり、自然宿泊体験教室へ参加するという流れである。派遣終了後には、目黒区教育委員会から参加証明書の提出をしていただく。

(直井) どういった団体からボランティアの依頼があるのか。

→ 主に保育園や幼稚園、小・中学校など教育機関からの依頼が多いが、行政、市民団体などからの依頼もある。(内容：ダブルダッチの演技披露・指導や授業補助など)

以上の質疑の後、全会一致で本件は原案どおり承認された。

3) その他

具志堅議長より、外部評価委員会から、地域のニーズに応える形の取り組みが不十分という指摘があり、本学の実行部隊と地域の現場レベルとすり合わせを行う機会があるべきではないかという意見が出されている旨報告がなされた。また、昨年度、公開講座やスポーツ教室を開催した際、参加者にアンケートを実施して、出された意見等を参考としているが、これだけでは不十分であるとの指摘を受けた旨報告がなされた。

本機構では、分野別委員会として「地域教育活動」、「地域研究活動」、「地域社会貢献活動」の三つの委員会が実行部隊的役割を担っているが、これらの委員会から選抜したメンバーと行政サイドの担当者及び地域の自治会の方などと懇談会のような形で開催することが良いのか、皆様のご意見を伺いたい旨説明がなされた。

(今井) 世田谷区、横浜市のニーズを把握するための地域活力を上げていく仕組みを構築する。

(鈴木) 大学と行政の意見交換の場を設ける。

(直井) 横浜市の中でも地域を限定し、事務担当レベルでワークショップやディスカッションを実施する。

(渡邊) 管理職等が集まりディスカッションの場を設ける。

(泉) 大学施設の借用、人材育成について大学と行政で連携を取っていきたい。

(白旗) 社会貢献推進機構を発足して 3 年目となる。足下を固め、行政からの意見を取り入れていきたい。

(塚田) 公開講座やスポーツ教室が地域住民のニーズに合っているのか。行政から日体大と連携して何ができるか提案いただきたい。

(渡邊) 行政のスポーツ関係部署の職員だけでなく、地域関係部署の職員を交えて話し合いを実

施するのはどうだろうか。

(直井) ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックに向けて大学と行政で連携し、大会後にも繋がる活動をしていきたい。

(白旗) 公開講座やスポーツ教室等地域の方々への周知が難しい。ご協力いただきたい。

最後に、具志堅議長より本事業に関する継続的な協力についての依頼と第2回地域社会連携本部会議を10月頃に予定している旨、連絡がなされ散会となった。

以上